



一般社団法人

全国旅行業協会

ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION (ANTA)

Press Release

山形・新潟の両県で「観光応援会議」 村上・瀬波温泉「観光振興懇談会」を開催

山形県観光応援会議が令和元年9月25日(水)16時より山形県鶴岡市のあつみ温泉「萬国屋」で、村上・瀬波温泉観光振興懇談会が翌日の26日(木)10時30分より新潟県村上市の瀬波温泉「大観荘せなみの湯」で、新潟県観光応援会議が同日の26日(木)16時より新潟市の「新潟東映ホテル」で、それぞれ開催された。

これらの応援会議は、本年6月18日に発生した山形県沖地震(M6.7、最大震度6強)で影響を受けた山形県・新潟県について、観光庁による官民を挙げた「山形・新潟応援キャンペーン」に協力するとともに、両県の観光・旅館団体からの依頼を受け、当協会として、正確な情報の提供、自然・文化・食など、両県の豊富な観光資源の魅力を発信することなどにより、送客を促進する活動の一環として展開された。

山形県観光応援会議 (9月25日)

9月25日(水)開催の「山形県観光応援会議」では、冒頭に二階俊博会長からのメッセージが披露され、「今般の山形県沖地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。今回の応援会議は、当協会が少しでもお役に立てればと開催するものです。各地の観光の魅力を学び、5,600社の会員が一致協力して、観光の魅力が豊富な山形県への送客応援活動に取り組んで参ります」と代読された。



近藤幸二副会長による主催者挨拶の後、山形県の吉村美栄子知事のメッセージが、沼澤好徳山形県庄内総合支庁長より代読され、本会議の開催及び当協会の支援活動等に対する謝辞とともに、「本年10月から12月にかけて実施される新潟県・庄内エリアDC、令和3年の東北DCが決定するなど、山形県としては、さらなる拡大の機会と捉え、美食・美

酒・文化・歴史・温泉・景観など様々な観光資源の魅力を発信し、東北内外からの積極的な誘客拡大に繋げて、観光立県山形の確立を図りたい」と述べられ、同県への送客協力が要請された。

山形県の観光魅力の紹介に移り、沼澤庄内総合支庁長から、おいしい食の都「庄内」をテーマに、庄内地域の3つの日本遺産である「出羽三山」「北前船寄港地・船主集落」「サムライゆかりのシルク」や、新潟県・庄内エリアDC「新潟・庄内ガストロノミー 日本海美食旅」などが説明された。引き続き、鶴岡市商工観光部の阿部知弘観光物産課長、あつみ観光協会会長を兼務される温海温泉旅館組合の若松邦彦理事長、湯野浜温泉旅館協同組合の五十嵐浩理事長から、それぞれの温泉施設の復旧状況と観光紹介がなされた。

当協会における山形県への応援活動の取り組みが有野一馬専務理事から説明された後、意見交換の場が持たれ、永野末光副会長による閉会挨拶で終了した。



沼澤庄内総合支庁長より、吉村知事のメッセージが披露されるとともに、庄内地方の観光魅力について紹介された



村上・瀬波温泉観光振興懇談会（9月26日）



9月26日（木）開催の「村上・瀬波温泉観光振興懇談会」では、近藤副会長による主催者挨拶の後、村上市の忠聡副市長、（一社）村上市観光協会の浅野謙一会長、瀬波温泉旅館協同組合の佐藤久也理事長より来賓挨拶がされた。この中で、忠副市長は、当協会会員の瀬波温泉への送客と全国の観光関係者から支援に感謝の意を表され、村上市内の震災の影響や現況などが説明された。

続いて、村上市の大滝寿観光課長から、同市の主要観光地である「瀬波温泉」「笹川流れ」や、「鮭・酒・情け（サケ・サケ・ナサケ）3つのサケのまち むらかみ」をキャッチコピーとして、名産の鮭を活用した伝統料理、当地の良質な米と水と環境で醸造される日本酒、歴史的風致維持向上計画に認定された城下町の趣き、行事・祭りなどが紹介された。

当協会による応援活動の取り組みが説明された後、意見交換が行われ、駒井輝男副会長による閉会挨拶で終了した。



村上市の忠副市長による来賓挨拶



新潟県観光応援会議（９月26日）

９月 26 日（木）開催の「新潟県観光応援会議」では、開会に際して、二階会長のメッセージが代読され、近藤副会長による主催者挨拶の後、国土交通省北陸信越運輸局の板崎龍介局長、観光庁の奈良和美参事官、新潟県観光局の今井剛副局長より来賓挨拶がなされた。



板崎北陸信越運輸局長は、来賓挨拶において、本会議の開催及び当協会の支援活動等への謝辞の後、「山形県沖地震では、新潟県の観光・宿泊施設の営業に差し障る被害は無かったものの、県内全域でキャンセルが相次ぎ、風評被害の払拭が喫緊の課題となった」と省み、10 月からの新潟県・庄内エリアDCや新潟開港 150 周年など、話題が豊富な新潟県への送客協力について要請された。



国土交通省北陸信越運輸局の板崎局長による来賓挨拶



新潟県観光局の今井副局長より
同県の観光魅力の紹介がされた

引き続き、新潟県観光局の今井副局長より、地震による観光への影響の報告と観光紹介のプレゼンテーションがなされ、新潟県・庄内エリアDC「日本海美食旅」では「うまさぎっしり新潟」をサブキャッチフレーズに展開し、観光素材の紹介や雪国ならではの「スノーリゾート新潟」の魅力などが説明された。

当協会による新潟県への応援活動の取り組みが有野専務理事より説明された後、会議出席者による意見交換がなされ、駒井輝男副会長による閉会挨拶が終了した。

会議後の観光交流懇親会では、新潟県の花角英世知事がご来賓として参加され、ご挨拶の中で、当協会の新潟への来訪を歓迎する謝意が表された後、6月18日の地震について、「人的被害は軽微であったが、風評被害の影響があり、現在の入込客数は、ようやく平年並みに戻りつつある状況」と風評被害が完全に払拭していないことが説明された。また、「今回で9回目となる新潟県のDCでは、『食文化』に焦点を絞り、新潟の豊かな食を通じた地域の物語やドラマで、旅をする人の関心を惹き付けたい。今回の応援会議を契機にして、新潟への送客に繋いで欲しい」との期待を込めたご挨拶がされた。



花角英世新潟県知事によるご来賓挨拶

全旅協 山形・新潟応援ポスター

—— ANTAは送客を通じて山形・新潟の観光振興を応援します ——

山形・新潟応援
キャンペーン実施中

正確な情報を提供します
観光地の魅力を伝えます
山形・新潟への送客を応援します

山形・新潟への旅は、全国 5600 社の ANTA 加盟の旅行会社へ
一般社団法人 **全国旅行業協会**
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

後援 **観光庁**
Japan Tourism Agency

当協会では、観光庁による「山形・新潟応援キャンペーン」の呼びかけに応じ、同庁の後援のもと、両県への応援活動を展開し、この一環として、夏・秋の観光シーズンを迎える山形の庄内地方、新潟の下越・佐渡の主な観光地をデザインした送客PRポスターを制作した。新潟・山形の自然・文化・食など、豊富な観光魅力を発信するため、国土交通省・観光庁をはじめ、都道府県、観光関係団体・企業等に配布し、積極的な掲出を依頼した。